



# 病院ニュース さわらび

平成 27 年 10 月 13 日号

## 新赴任医師の紹介

整形外科 かねこ しょう  
金子 翔

○所属学会:日本整形外科学会



皆様初めまして。10月1日より着任いたしました整形外科の金子です。十和田市内の幼稚園に約1年通っており、実に25年ぶりの十和田です。整った街並みに道がまっすぐ続いていた幼少の記憶はそのままに、アートのある街に驚きました。B1も含め楽しんでいきます。より精進し市民の皆様の健康に寄与できますよう頑張りますので宜しくお願いします。1985年生・O型・独身。

臨床研修医 すがわら ひろし  
菅原 啓司



この度、初期臨床研修医として勤務することとなりました。未熟なところばかりですが、この二年間で少しは医師として貢献できるようになり、自分を育ててくれた地元青森県に恩返しが出来ればと思っています。手厚いご指導・ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

## 院内『チーム医療』の紹介 (part )

『チーム医療』とは、医療を受ける人の病状、人生観、生活スタイルに合わせた効率のよい安全な医療を提供するために、病院内の専門職（医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士など）や事務部門などがチームを組んで診療を行うシステムです。当院での取組みを3回に分けてご紹介させていただきます。

### 「糖尿病ケアチーム」 看護師長 澤田和子

糖尿病患者は全国で約2200万にのぼるといわれ増加の一途をたどっています。糖尿病は、患者自身が治療法を十分理解して日々自己管理していくことが大切です。食事療法・運動療法・薬物療法・インスリン自己注射・血糖自己測定・低血糖への対処法・シックデイ時の対応を習得することが必要です。

当チームは、入院患者様には糖尿病の教育プログラムを組んで薬剤師、栄養士、検査技師、理学療法士、看護師の各コメディカルが糖尿病の療養指導を行っております。外来では待合時間に医師やコメディカルが糖尿病についての講話を行っております。また、糖尿病外来や糖尿病地域連携パス

を通して患者様の日常生活の不安や悩みに継続的に対応しています。特に糖尿病による足壊疽予防のため、フットケアには意欲的に取り組んでおり、フットケア外来は高い評価を得ています。

その他、チームの活動としては、糖尿病教室の開催、病院ふれあい祭りや駒マラソンに参加して、十和田市民や地域の皆様にも糖尿病についての啓発活動を楽しく活発に行っています。

今後も、糖尿病療養指導士が中心となり、患者様の生活環境をふまえ、心理面も配慮し、よりよい生活が送れるように、チーム一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。



2014.10.12 十和田駒マラソンに参加

### 「感染制御チーム」 主任看護師 藤井真希

感染制御チームは、院内各部門の職員から構成され、病院内での感染症の発生・拡大を未然に防ぐことを目標に活動を行っています。毎週院内をラウンドし、感染症発生状況を把握、感染対策の実施状況を確認し、感染症の伝播を防ぐために多職種が連携して活動しています。また、薬剤耐性菌の発生を抑制するため、医師・薬剤師と臨床検査技師が中心となり、抗菌薬適正使用に向けた活動も行っています。

感染症や薬剤耐性菌は、適切な対策をとらなければ、患者の移動とともに病院から在宅、他の医療施設や介護施設へと拡散していきます。そのため、院内だけでなく地域の感染対策の充実も目指して近隣の医療機関と連携した活動も行っています。



感染予防の基本『手洗い』指導

### 「医療安全対策チーム」 看護師長 鹿内純子



毎月のスローガン

医療安全対策チームは患者さんが安心して安全な医療が受けられるように、病院職員だけでなく患者参加も取り込んで一丸となって活動を行っています。院内のパトロールをして、マニュアルは守られているか、患者さんの療養環境の中に危険なところはないかを見て歩き、新しい医療安全情報の研修会の開催、KYT（危険予知トレーニング）などで医療安全に対する感性を磨いています。名前を名乗ってもらったり、何かおかしいと思った時は遠慮なく聞くことで防げる間違いは沢山あります。どんな小さな疑問でも聞きあえる人間関係を構築していきたいと思っています。



## 外来診療担当医表

外来診療担当医表は随時更新しております。下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>